

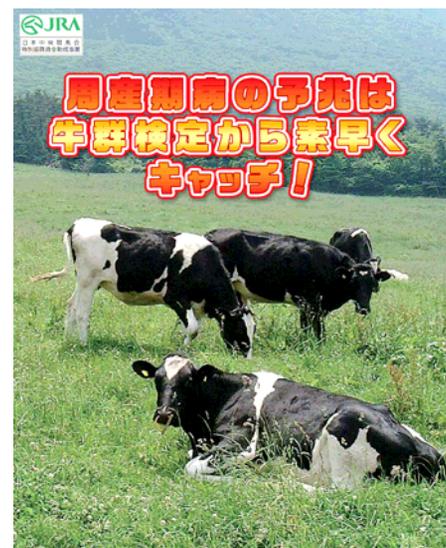
牛群検定の利活用などについて、解説記事を掲載しています

- 1 デーリイマン7月号
牛群検定は国の事業としてやるべきだ 秋田県酪農連盟会長 柴田輝男氏
- 2 デーリイマン7月号
牛群検定システム 北海道酪農検定検査協会
北海道における牛群検定活用を紹介しています
- 3 農業共済新聞6月18日号
高能力の牛群育成 牛群検定を基に自らの目で判断 長野県高山村 前田勉氏
- 4 全酪新報7月1日号 全国酪農協会
牛群検定ワンポイントレッスン その13 暑熱対策
- 5 酪農ジャーナル7月号 酪農学園大学エクステンションセンター
牛群検定だより (第4回) 乳用牛群検定事業検定実施方法及び基準の改正のポイント
牛群検定のルールが8年ぶりに改正になりました。
- 6 LIAJニュースNo.146 平成26年5月号 (家畜改良事業団)
特集「牛群検定を暑熱対策に利用しよう！」
牛群検定情報「乳用牛群検定事業検定実施方法及び基準」
<http://liaj.lin.gr.jp/japanese/kentei/kentei.html>

好評配布中！「周産期病の予兆は牛群検定で素早くキャッチ！」

乳用牛群検定全国協議会において乳用牛の飼養管理技術改善システム開発事業により作成したパンフレットを検定農家全戸に無料配布中です。牛群検定成績を周産期病の予防に活かす方法を豊富なカラー写真を使って解説しています。ご不明な場合は、検定組合または当団までお問い合わせください。(家畜改良事業団情報分析センター T03-5621-8921 Eメールtoiawase@liaj.or.jp)

- 1 飼料成分と生乳成分の関係
- 2 牛群検定成績の利用
 - (1) P/F比
 - (2) MUNと乳蛋白質率の利用
- 3 周産期病について
 - (1) 濃厚飼料過多が原因となる疾病
ルーメンアシドーシス、蹄葉炎など
 - (2) 分娩後のエネルギー不足が原因となる疾病
ケトーシス、脂肪肝など
 - (3) カルシウムが原因となる疾病
乳熱、胎盤停滞など
 - (4) 繁殖障害
 - (5) 乳房炎



乳用牛の飼養管理技術改善システム開発事業
乳用牛群検定全国協議会

新規検定農家募集中！**パワーアップした「検定試行」をご利用ください！**

家畜改良事業団では「乳用牛改良対策事業」により、牛群検定を半年間無料体験できるお試し検定を本年度も実施します。従来は10月までには検定試行を開始して頂かないと、年度内に補助対象の半年間を満度に利用出来ませんでした。今回から、この部分を改めて、いつ検定試行を開始しても、半年間の補助が可能となりました。これを機会に、検定に未加入の農家に一声かけてみてください。

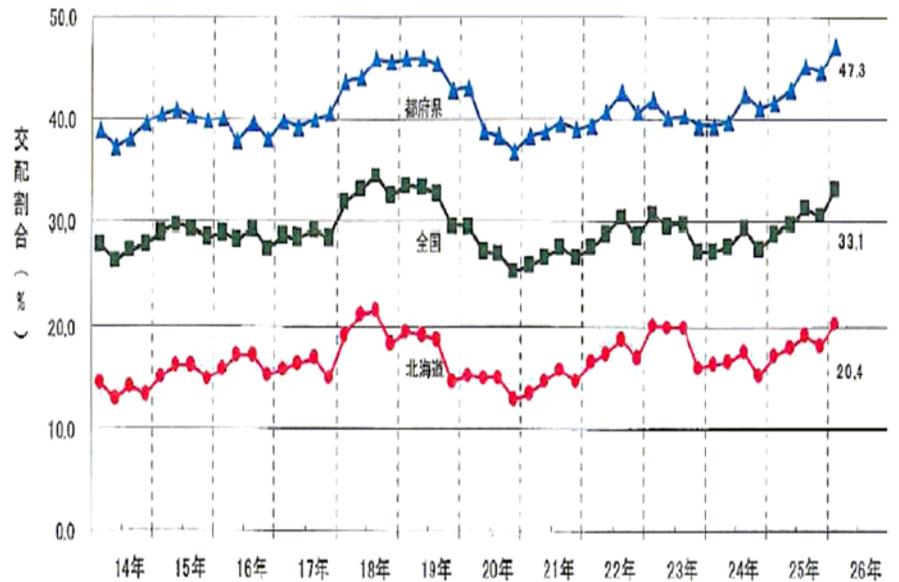
新規加入農家には、牛群検定成績の利活用(入門編)を解説したビデオをDVDとテキストで配布しています。「利活用がよくわからない…」という方にも安心です。なお、ビデオはインターネットでも無料視聴できます。

乳用牛の後継牛確保について 乳用牛への黒毛和種の交配が47.3%に！

日本家畜人工授精師協会の調べ(平成26年1～3月期、6/25公表)では、乳用牛への黒毛和種の交配が増加傾向にあり過去最高水準に近づきつつあります。これは子牛価格の上昇傾向等の原因があるものと考えられますが、近年の酪農状勢では、酪農家戸数の減少に伴う経産牛頭数の減少等による生乳生産基盤の確保が喫緊の課題になっています。

交配の影響は、妊娠期間及び育成期間を経た3年後に表れると言われております。牛群検定成績表や改良情報を利用して、NTP上位40位の優良な種雄牛による十分な頭数の後継牛を確保できるように交配してください。

乳用牛への黒毛和種の交配状況



305日乳量が過去最高の全国平均9,406kgを記録！ 対前年も9年ぶりの大きな伸び

平成23年は大きく305日乳量を下げましたが、平成25年のホルスタイン種の305日乳量は過去最高の乳量となりました。全国9,406kgで対前年+120kgにもなります。

対前年で100kg以上に伸びたのは、平成16年に記録して以来9年ぶりの大きな伸びとなります。特に北海道で大きく伸びており9,383kg(対前年+153kg)にもなります。都府県は9,452kg(対前年+54kg)となっています。

牛群検定における305日乳量の推移(全国)



好評！乳量計レンタル！

乳量計のレンタルが大変ご好評を頂き、現在140台を超えてご利用頂いております。好評の要因は、リーズナブルな価格に加え、毎年行う性能検査がセットになっており、オーバーホールによるメンテナンスも行われます。きれいな状態で正確な検定が行えるところが魅力です。対象機種は以下のとおりです。



ツルーテスト ミルクメーターF型およびFV型
ワイカト ミルクメータースピードサンプラーおよびMK5型

http://liaj.lin.gr.jp/japanese/kentei/kentei_info.html

牛群検定関連の案内

牛個体識別耳標の配布について

子牛が生まれたときに装着する耳標の本年度第1回目の配布は、7月上旬から中旬に行います。第2回目以降および脱落などによる再発行耳標の配布等の詳細は、以下をご覧ください

<http://liaj.lin.gr.jp/japanese/kentei/ID/id-info.html>

個体識別技術情報